

2024年度

# 環境経営レポート



**KOBARI**

有限会社小針土木

本レポートの対象期間：2024年5月1日～2025年4月30日

作成日：2025年11月25日

# 有限会社小針土木 環境経営方針

有限会社小針土木は、公共事業を中心として建設業を行っており、環境汚染の防止、地球資源の有効活用、環境管理活動を通じて『地球環境の保全』を重大な課題のひとつと認識し、常に環境経営に配慮した企業活動を推進し、環境経営の継続的改善に努めます。

当社の企業活動における環境負荷低減のため、行動指針を次のように定めます。

1. 環境関連法規、条例その他の規制を遵守します。
2. 環境保全について、具体的な環境経営目標を定め活動計画を立て継続的改善に努めます。
  - ① 二酸化炭素排出量の削減
  - ② 廃棄物リサイクル化の促進
  - ③ 水使用量削減
  - ④ 環境配慮施工の推進
  - ⑤ 4S、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）活動
3. 当社のために働くすべての従業員にこの環境経営方針を周知します。

制定 2016年07月01日  
改訂 2016年12月20日  
改訂 2019年05月10日  
改訂 2020年12月24日

有限会社小針土木  
代表取締役 小針孝之

## □事業所の概要

### (1) 事業所名及び代表者名

有限会社小針土木

代表取締役 小針 孝之

### (2) 所在地

本社 東京都葛飾区柴又一丁目 17 番 21 号

資機材置場 東京都葛飾区西水元三丁目 18 番

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者:小原 直人

TEL:03-3608-5083 FAX:03-3608-9846

Eメール:kohara@kobaridoboku.co.jp

EA21 事務局担当者:尾崎 信吾

TEL:03-3608-5083 FAX:03-3608-9846

Eメール:ozaki@kobaridoboku.co.jp

### (4) 事業内容(認証・登録の範囲)

土木工事、舗装工事、水道施設工事

東京都知事許可(特-2)100798号 令和7年9月9日まで

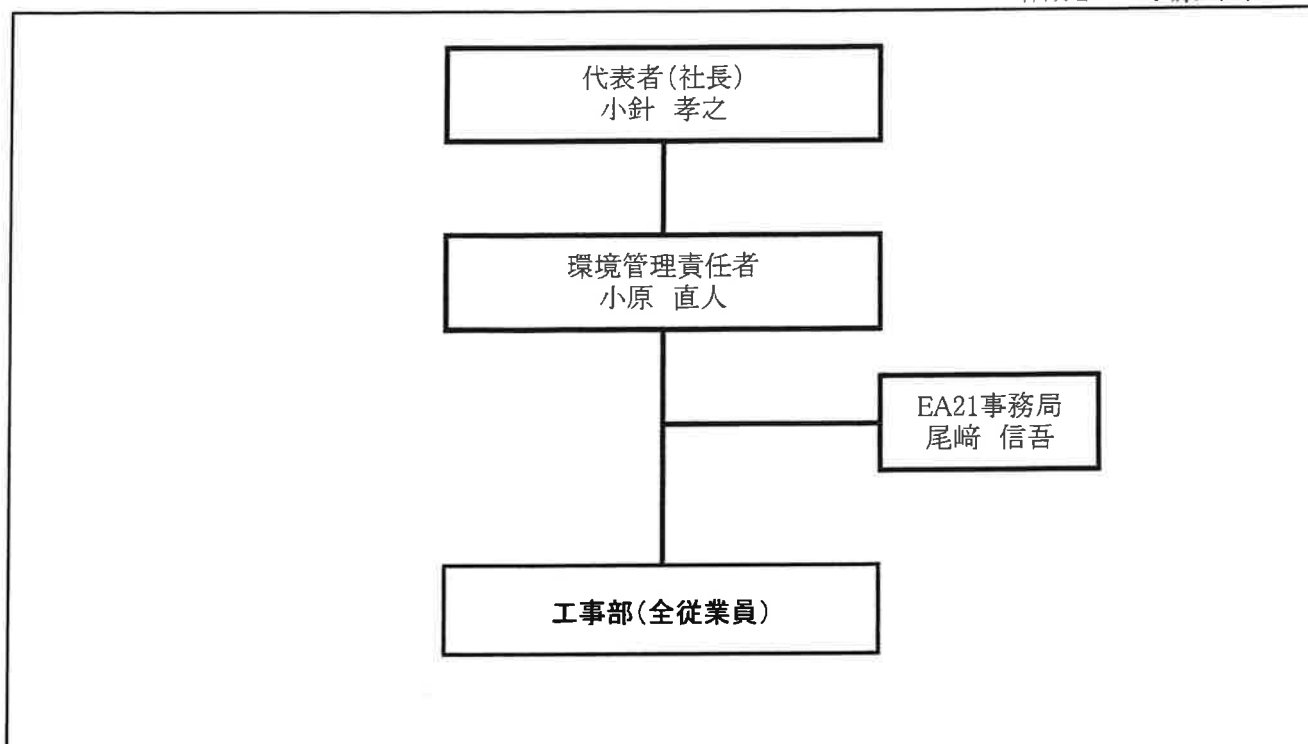
産業廃棄物収集運搬業(汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラス・  
コンクリート・陶磁器くず、がれき類)

東京都知事許可第13-00-184533号 令和12年10月15日まで

埼玉県知事許可第01100184533号 令和12年9月10日まで

### (5) 事業の規模

従業員数	11名
事業所の延べ床面積	97.2 m <sup>2</sup>
資機材置場面積	693 m <sup>2</sup>
運搬車両	3tダンプトラック 4台



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・代表者による全体の評価と見直しを実施</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムを構築・運用する(代表者からEA21の権限を委任)</li> <li>・実施体制の構築(組織図及び役割・責任・権限)</li> <li>・環境経営目標・環境経営活動実施計画書/実績表の作成</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施</li> <li>・外部環境情報の窓口</li> <li>・環境上の緊急事態への準備・対応</li> <li>・環境経営目標及び環境経営活動計画の実施・確認・評価、達成状況の報告</li> <li>・環境経営レポート作成</li> <li>・環境経営活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> </ul>
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EA21の推進(環境管理責任者の指示を受けて)</li> <li>・環境への負荷及び取組チェック実施</li> <li>・環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理</li> <li>・環境関連文書・記録の管理</li> </ul>
工事部(全従業員)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施上の問題点の是正・予防処置実施</li> <li>・環境経営方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・EA21で決められた各自の役割を実施</li> </ul>

□環境経営目標とその実績

項目	環境目標	基準値	中長期目標(～2027年度)		
		2022年度	2025年度	2026年度	2027年度
エネルギー 使用量	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	24,795	24,795 (基準値維持)	24,795 (基準値維持)	24,795 (基準値維持)
	置場電力の削減30A(kWh)	2,185	2,185 (基準値維持)	2,185 (基準値維持)	2,185 (基準値維持)
	事務所電力の削減7kW(kWh) 空調専用	2,934	2,934 (基準値維持)	2,934 (基準値維持)	2,934 (基準値維持)
	事務所電力の削減10kVA(kWh) 照明・事務機器等	3,425	3,425 (基準値維持)	3,425 (基準値維持)	3,425 (基準値維持)
	現場等購入ガソリンの削減(ℓ) 通勤用を除く	3,000.10	3,000.10 (基準値維持)	3,000.10 (基準値維持)	3,000.10 (基準値維持)
	現場等購入軽油の削減(ℓ)	4,998.89	4,998.89 (基準値維持)	4,998.89 (基準値維持)	4,998.89 (基準値維持)
廃棄物	産業廃棄物の排出量(t)	1,023.70	- 実績把握	- 実績把握	- 実績把握
	産業廃棄物のリサイクル化の促進 (%)	100	100 (基準値維持)	100 (基準値維持)	100 (基準値維持)
	一般廃棄物排出量の削減 (kg)	92	92 (基準値維持)	92 (基準値維持)	92 (基準値維持)
水道使用 量	置場水道使用量の削減(m <sup>3</sup> )	89	89 (基準値維持)	89 (基準値維持)	89 (基準値維持)
	事務所水道使用量の削減(m <sup>3</sup> )	20	20 (基準値維持)	20 (基準値維持)	20 (基準値維持)
環境配慮	環境配慮施工の推進	・低騒音低振動型建設機械の使用	適正実施	適正実施	適正実施
		・エコセメント使用二次製品の使用	適正実施	適正実施	適正実施
		・現場周辺の影響を考えた施工	適正実施	適正実施	適正実施

運用結果

項目	環境目標	基準値 (2022年度)	2024年度		
			目標値 基準年比	実績 2024/5～2025/4	目標達成 率
エネルギー 使用量	二酸化炭素排出量(kg-CO2)	24,795	24,795 基準値維持	36,519	×
	置場電力の削減30A(kWh)	2185	2,185 基準値維持	2,463	×
	事務所電力の削減7kW(kWh)	2,934	2,934 基準値維持	2,617	○
	事務所電力の削減10kVA(kWh)	3,425	3,425 基準値維持	4,686	×
	現場等購入ガソリンの削減(ℓ)	3,000.10	3,000.10 基準値維持	2,918.82	○
	現場等購入軽油の削減(ℓ)	4,998.89	4,998.89 基準値維持	7,123.10	×
廃棄物	産業廃棄物の排出量(t)	1,023.70	実績把握	9,045.91	○
	産業廃棄物のリサイクル化の促進(%)	100	100.00 基準値維持	100	○
	一般廃棄物排出量の削減(kg)	92	92.00 基準値維持	64	○
水道使用 量	置場水道使用量の削減(m <sup>3</sup> )	89	89 基準値維持	102	×
	事務所水道使用量の削減(m <sup>3</sup> )	20	20 基準値維持	19	○
環境配慮	環境配慮施工の推進	低騒音・低振動型機械の使用	適正実施	同上交通省指定機械を使用した	○
		エコセメント使用二次製品の使用	適正実施	対応二次製品に使用した	○
		現場周辺の影響を考えた施工	適正実施	近隣住民と協議の上施工した	○

(4S、5S活動は、本社及び資機材置場に掲示して実施しています。)

※1 二酸化炭素排出係数は電力(0.462)、ガソリン(2.32)、軽油(2.58)で計算しました

□主要な環境活動の内容及び取組結果の評価

環境活動計画の内容	取組結果の評価	次年度の取り組み内容
<b>電気使用量の削減</b> ①空調機の適正利用 ②クール・ウォームビズの励行 ③不要照明の消灯 ④カーテン利用による熱の出入りの調節	①適正利用出来ている。 ②定着している。 ③徹底出来ている。 ④定着している。	現状を継続する。
<b>燃料使用量の削減</b> ①エコドライブの徹底 ②アイドリングストップ ③過積載の防止 ④建設機械の点検	①徹底出来ている。 ②定着している。 ③定着している。 ④定着している。	現状を継続する。
<b>産業廃棄物のリサイクル化の促進</b> ①残余材料の発生を防止 ②リサイクルの促進 ③適切な業者への委託	①定着している。 ②分別の徹底がより良く出来ている。 ③定着している。	現状を継続する。
<b>一般廃棄物排出量の削減</b> ①文書の電子化・印刷物は最小限にする ②裏紙・両面印刷の活用 ③インクカートリッジのリサイクル化 ④使用済み用紙、封筒の再利用	①定着している。 ②定着している。 ③定着している。 ④定着している。	現状を継続する。
<b>水道水の削減</b> ①節水の励行 ②洗車前の泥落としの励行 ③水を流しっぱなしにしない	①定着している。 ②定着している。 ③定着している。	現状を継続する。
<b>環境配慮の施工</b> ①低振動・低騒音型機械の使用 ②エコセメント使用二次製品の使用 ③現場周辺の影響の少ない時間帯での施工 ④騒音規制法による特定建設作業実施届出書の提出	①定着している。 ②定着している。 ③定着している。 ④定着している。 騒音等の苦情なし。	現状を継続する。

## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況について今年度順守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。

順守状況確認日 2025年 5月 26日

主な「環境関連法規等」は以下の通りです

法規	項目	内容	順守状況
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業廃棄物の収集・運搬の委託</li> <li>・産業廃棄物の処分の委託</li> <li>・多量廃棄物処理計画・報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託契約書(数量、種類、運搬の目的地、処分業者名 収集運搬業者名、単価) 5年間保管</li> <li>・収集運搬業者の許可証 許可の範囲の確認</li> <li>・委託契約書(数量、種類、収集運搬業者名、処分業者名、処分の方法・能力、最終処分に関する情報)5年間保管</li> <li>・処分業者の許可書、許可の範囲の確認</li> </ul>	適正順守
建設リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル計画</li> <li>・建設副産物情報交換システムの活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事概要、建設副産物の種類・リサイクル方法、建設副産物の運搬・処理業者名、現場での分別等を施工計画書に記載</li> <li>・COBRISにより再生資源利用(促進)計画書(実施書)の作成</li> </ul>	適正順守
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡易点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者による3か月に1回以上、実施記録の作成・保存</li> </ul>	適正順守

外部からの苦情、訴訟への有無について、関係当局からの指導及び利害関係者からの訴訟等はこれまで過去3年間ありませんでした。

## 2024 年度、代表者による全体の評価と見直し記録

実施日	2025 年 5 月 26 日	実施場所	本 社
参加者	社長、環境管理責任者	記録作成日	2025 年 5 月 26 日
		作成者	小原 直人

### A：前回の指示への取組結果

前回の指示事項	取組結果
現状の継続	現状維持出来ました。

### B：今回の評価結果

見直しに必要な情報 (環境管理責任者の報告事項)	代表者の評価結果 (有効に機能しているか、適切に実施されているか)
1. 環境経営目標の達成状況 ・工事量の増加に伴い、電力・置場水道・自動車燃料は未達であったが、他は順調に実施されました。	目標未達があるものの、全体的に良く出来ています。
2. 環境経営計画の実施及び運用結果 ・全社員に運用結果を報告しました。	現状を継続して下さい。
3. 環境関連法規等の遵守状況 ・遵守しています。	現状を継続して下さい
4. 外部からの環境に関する苦情・要望 ・ありません。	現状を継続して下さい

### C：(環境管理責任者への) 指示内容

指示項目	変更する 必要性判断	代表者の指示内容 (5W1Hで)
1. 環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
2. 環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
3. 環境経営計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	
4. 環境経営システム (実施体制含む)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	

## □代表者による全体の評価と見直し・指示

ここ数年で、気象環境の変化、受注工事の大規模化により、電力・水道・燃料の使用量は、増加しました。しかし、現場での削減努力できたことは社員一人一人の意識が定着していると評価できると思います。

これまでの取組みにより、エネルギー使用量・廃棄物・水道使用量のムダが省かれ、全ての目標達成に向けて、今後も全員で創意工夫を重ねて環境負荷低減に努力していきます。

(以上)